パリ地下鉄、スマホ利用で電子化を促進 紙の切符全廃へ



９月26日（木）、パリおよびパリ近郊、イル＝ド＝フランス地域圏（Ile-de-France）の公共交通機関を管理する、イル＝ド＝フランス＝モビリテ（Ile-de-France Mobilités ：IDFM）は、今年６月に開始したスマートフォンのアプリで切符や定期を購入できるサービスにより、紙切符の廃止を加速し2020年半ばの全廃を目指しています。

切符の代わりにチャージ式カード《ナヴィゴ・イージー》

今年の６月より《ナヴィゴ・イージー》（Navigo

Easy）と呼ばれるチャージ式のカードが２ユーロ（約236円）で販売されています。

このカードを利用すると、切符１枚からチャージが可能で、さらに《カルネ》（carnet）と呼ばれる10枚綴りの割引チケット、１日券、オルリー（Aéroport de Paris-*Orly*）空港やシャルル・ド・ゴール（Aéroport de Paris-Charles-de-Gaulle）空港行きのバス、オルリービュス（Orlybus）やロワッシービュス（Roissybus）チケットもチャージできます。

イル＝ド＝フランス地域圏知事で、イル＝ド＝フランス＝モビリテ会長でもある、ヴァレリー・ペクレス（Valérie Pécresse）氏は、「この３ヶ月ですでに数百万枚の紙のチケットが減りました」と、チャージ式カードがすでに支持を得ていることを説明しました。

ただ、家族旅行でパリを訪問する場合、カルネなら10枚を分けあって使うことができましたが、このカード式に移行すると各自カードを２ユーロ（約236円）で購入する必要があります。

スマホ改札も開始

NFCと呼ばれる非接触式技術を利用し、スマホで改札を通過することもできます。《ナヴィゴ・イージー》同様、空港行きも含むチケットがスマホにチャージできます。

今のところスマホの場合、フランスのオランジュ（Orange）社または系列のソシュ（Sosh）のシムカードか、サムスン社の対応15機種のみで利用が可能です。

アプリ《ヴィア・ナヴィゴ》をダウンロード、電源切れもOK

スマホ利用の場合、アプリ《ヴィア・ナヴィゴ》（Via Navigo）をダウンロードし改札でスマホをかざすだけです。電源が切れていても利用できます。抜き打ちの検札時も、係員のもっている機械にかざすだけです。

イル＝ド＝フランス＝モビリテ社によると、パリ及びパリ近郊の公共交通機関利用者の90%はスマホを所持しており、うち80%はアンドロイドユーザーです。

また、サムスン社の発表によると、この地域でのサムスン製のスマホのシェアは50%を占めています。

現存の定期《パスナヴィゴ》がアプリからチャージ可能

毎月月初めは、パリの地下鉄の改札付近で朝から定期《パスナヴィゴ》（le passe Navigo）をチャージする人の行列が絶えませんが、アプリ《ヴィア・ナヴィゴ》（ViaNavigo）の登場で駅に行かなくてもチャージすることが可能になりました。

つまりアプリで支払いを済ませ、《ナヴィゴ》をスマホにかざすだけでチャージ完了するわけです。

ちなみに、このチャージ機能はオランジュ社のシムやサムスン製のスマホに限らず、アンドロイドユーザーなら誰でも利用できます。

iPhoneの利用はアップル社と交渉中

現時点でアプリがアンドロイドユーザーしか使えない状況について、ペクレス氏は「2020年にはすべての公共交通機関利用者にこのサービスを利用してもらうため、アップル社に再三協力を要請」しており、また同社も「パリおよび近郊の住民がアンドロイドに移行するのを避けたいだろう」と述べています。

氏によると、今後数ヶ月以内には《アプリ無料ダウンロード》で、アップル社と合意する意欲を見せています。

今年の11月から、月々後払い方式も導入

利用者の電子化を促進するため、《ナヴィゴ・リベルテ・プリュス》（Navigo Liberté +）と命名されたカードが11月に導入されます。このカードを利用することで、１ヶ月に利用したパリ市内のバスや地下鉄料金を翌月15日に一括払いで引き落とすことができます。

割引チケット《カルネ》大幅値上げで廃止に拍車

紙の切符が10枚セットでお得なカルネは現在14.9ユーロ（約1758円）で、１枚1.9ユーロ（約224円）のチケットを一枚ずつ買うより割安になっていますが、11月１日より約13%、２ユーロ（約236円）値上げされ、16.9ユーロ（約1994円）になります。

イル＝ド＝フランス＝モビリテ社のディレクター、ローラン・プロブスト（Laurent Probst）氏は、「まずはカルネを廃止し、2020年半ばをメドに紙の切符を廃止したいと思っています」と、早急な電子化を進める意欲をみせる一方、「利用者を追い詰めることはしたくない、（全廃）時期は新しい利用方法がどれだけ支持されるかによる」と、紙切符の全廃には慎重な態度を示しています。

１ユーロ＝118円

執筆：マダム・カトウ

